

---

# ニートの涙

ねこたん

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

二ートの涙

### 【Nコード】

N5526D

### 【作者名】

ねこたん

### 【あらすじ】

世間なんかしらなかった俺・・・死のうと思った時にみてしまったブログ。その大好きなブログの作者の「死にたい」の1言で俺は5年間でなかった涙が止まらなくなった。（今、死のうと思うなら、この小説を読んでみてください。）

俺     ニートだった・・・

社会では僕達は、すばらしく嫌われた人種だった。

それでも、俺は部屋に引きこもるしかなかった、パソコンやるしかなかった・・・

親はこんな俺に話もかけてくれなかった、友達もいない。

寂しさが胸を支配し、世の中のことなんてなにも知らない。。

どうしようもない気持ちが胸を苦しめた。

私は愛されているのだろうか？

それでさえわからなかった・・・いや・・・わかっていた。だれも俺なんて愛しちゃくれない。

まるで永遠に海を知らない、水槽の中の魚の気分。

外には出たいが、その気力がない

毎日が矛盾していた・・・

涙も出なくなったある日・・・ぼくは決意した。死のうと・・・

よく書き込んでいた掲示板サイトに、「死にます」と書き込んだ・・・すると

「さっさと死ね！ゴミニート！」

「そうだ！テメーなんざ！社会には必要ないんだよ！」

そんな返事が返ってきた・・・

ああ！そうしてやるさ！

なにで死のうか考えた・・・ロープか？ナイフか？水か？

死ぬ方法なんていくらでもある・・・俺はもう逝くよ！

悲しみに縛られた俺の人生を終わらせようと思った。

もう準備はととのった、いつでも死ねる。そう思った。ロープとフックを手に入れたのだ・・・

最後にネットをしようとパソコンを起動した・・・

すると・・・

いつもみていたとあるブログでこんな書き込みがあった

「学校で、毎日毎日いじめられて学校に行けなくなりました。死にたいです。死のうと思います・・・」

プロフィールを見ると自分より4歳も年下の女子だ・・・

その後の文脈からみてマジだ！

他人のコメントには

「さつさと死ねば」

など、酷いことが書き込んであった・・・

胸が痛んだ・・・なんで死のうなんて考えるんだろう？そしてなんで死ねなんて言えるんだろう・・・

そして気付いた・・・自分もそうであることを・・・

5年間・・・一滴もでなかった涙がこぼれた。

毎日のようにみていた、唯一の楽しみのブログの作者が死のうと書いている・・・

俺は気付いた・・・私は彼女を愛していたのだと、恋愛とかじやなくて、友達でもなくて、ただ彼女の書き込みが楽しみだった・・・

そんな彼女に死んでほしくなかった・・・死にたいなんて書き込んで欲しくなかった・・・

そして、コメントに書き込んでしまった。

「俺は君を人として愛してる。死なないでくれ」

今、思い出すだけで恥ずかしい・・・なんであんなこと書いたんだろう・・・

その後、私は彼女とのやりとりをはじめて、次第に外の世界に出れるようになった。眩しすぎる太陽の光が目に入るのは歓び以外のなんでもな　　くなつた・・・。

現在、彼女は俺の隣でスヤスヤ寝ている。そう、俺と彼女は結婚した。今でも思い出す。ニートだったころを・・・

「君がいるから、俺がいる。」

「あなたがいるからわたしがいるのよ」

今でもそう言って幸せに暮らしている。

いま、もし死のうなんて考えてるやつがいるんなら、それは間違いだ！死ぬのはいつだって可能だが生きるのはそんなことじゃない。

太陽の光が差し込む地上に出ておいで、きっと誰かが君を愛しているから……。

きっと……きっと……

（後書き）

死で生まれるのは悲しみだけです・・・これは、作者の友達の実話です。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5526d/>

---

ニートの涙

2010年10月8日13時02分発行